

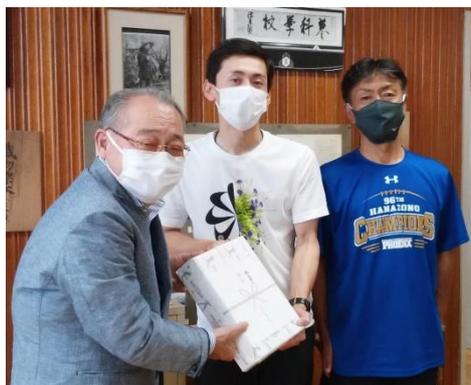


善戦！ 野球合同チーム ～それぞれの見せ場がありました～

7月3日より全国高等学校野球選手権大会（長野大会）が始まりました。本校は軽井沢高校・蘇南高校と3校合同チームで、7月9日（金）9:30より須坂高校と対戦しました。心配された天候は、雨と雨の間をぬって幸運にも実施することができました。打撃力と守備力で勝る須坂チームはコンスタントに得点を積み上げて、じわじわとリードを広げました。それに対し、果敢に攻める合同チーム。とうとうフォアボールで出塁した合同チームは、盗塁等で塁を進め、H君のタイムリーヒットで、得点につながりました。結果は、「17対2」と大差をつけられましたが7本の安打を放ち、思いっきりプレーができた満足感をもって勝負を全うできたのではないのでしょうか。これで引退になる3年生は、今までの活動を支えてくれた保護者、監督をはじめとする先生方、後述の野球部講演会や応援して下さった地域の皆様に感謝して、今後の一人ひとりの進路に向けて胸を張って頑張りたいと思います。



野球部へのプレゼント ～長岡会長様 森本会長様 ありがとうございます！～



先月、野球部後援会の森本信明様と、ナガオカ製作所の長岡義明会長様が来校され、野球部にボールを贈呈してくださいました。長岡会長様には、野球部のみならず常日頃から本校の教育活動全般に対し、毎年多大なご厚情をいただいています。

また今後進路についても、地元の優良企業である貴社に生徒がお世話になるかもしれません。先日も、「地元企業説明会」にもおいでいただき、会社の魅力などを生徒諸君に伝えていただきました。心より感謝申し上げます。

困ったお話(その39) (探究学習「日本史教師(私)と生徒(歴女)の対話」)

- (生徒) 先生、歴史上の人物で一番私の心に残っている人、それは宗良親王（むねよししんのう）です。
- (教師) え～と、誰だっけ？
- (生徒) 宗さまを知らないんですか？ とってもロマンを感じ、信州と縁の深い人物です。
- (教師) え？ も、もちろん知っているよ。たしか後醍醐天皇の弟だろ？
- (生徒) いいえ、息子です！ 親王なんだから子か孫に決まってるじゃない。父親の後醍醐天皇の討幕活動に加わり 1333年鎌倉幕府を滅亡させ、建武新政府が発足したものの、宗さまの運命は二転三転していけます。やがて武士の不満が高まり足利尊氏が京都を制圧し北朝を立て、建武政権は倒れ、後醍醐天皇たちは吉野に逃れて南朝を開いたんですよ。
- (教師) あっ、わかった！ これが世にいう「南北朝の動乱」の始まりだね？
- (生徒) ようやくわかりましたか。
- (教師) それで宗良親王はどうなったの？ 信州との縁って何？
- (生徒) いい質問です、先生。そこからは自分で調べてみてください。
- (教師) うん！ 興味がわいてきた。



「宗良親王物語（同編集委員会）」より

一見生徒にさせられ探究学習をさせられる教師に見えるが、実はその逆だ。生徒にそう思わせるのに苦労した。教師の興味に火をつけたことで生徒に自信を持たせ、更に主体的な深い学びを引き出す裏ワザだ（冷汗）。